



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で
統合失調症と診断された方

【研究課題名】

脳脊髄液を用いた向精神薬の脳内濃度に関する研究

【研究責任者】

功刀 浩(帝京大学 医学部 精神神経科学講座)

【本研究の目的及び意義】

精神科のお薬は飲んだあと血液を通して脳に運ばれそこで働きますが、脳には栄養以外の物質を入れない機能があるのでほとんどのお薬は脳の中まで入りません。この研究は飲んだお薬の成分が血液の中と脳の周りにある脳脊髄液の中でどのような割合になっているか、いろいろな情報との関連を明らかにして、お薬の脳の中での量とそれに影響を与える要因について明らかにし、将来的には患者さんごとにちょうどいい量のお薬を出せる方法を見つけることを目指しています。

【本研究に提供する試料・情報】

血液（血漿）、髄液

年齢、性別、身長、体重、飲酒・喫煙歴、診断名、既往歴、服薬情報、心理検査結果、髄液検査結果、採取時間、食事時間

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2029年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

帝京大学

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)